

みんなちがって あたりまえ でも 子育てに 不安を 感じる すべての方へ
 子育て おうえん ちょっと 休憩しませんか？



「ミルクティー」



はじめまして、村松小学校で、コーディネーターをしている、下田誉子と申します。
 これまで、特別支援という題目をつけて、お便りを出したこともありましたが・・・
 いやいや、どの親だって、子育てに悩むことあるよなあーと何度も何度も考えて、
 悩めるすべての子育て中の皆様へ向けて、ちょっとでも心の支えになればと思い、
 心機一転、「ミルクティー」を発行することにいたしました。
 あまーいミルクティーは、疲れた時に、ホッとする。
 読んでみて、そんなお便りになるといいなーと願いをこめて、出してみます。
 ながーい目で、飲んで、いやいや、読んでいただけると幸いです。

第1回目は、村松小学校にはどんな学級や教室があるかを、お伝えします。

①通常学級（長崎市のカリキュラムに沿った学習を行う場）

②特別支援学級【知的（すすらん・ひまわり）情緒（あじさい あさがお）病弱（なのはな）】

と、大きくわけてこの2種類があり、どの学級にも、優劣はありません。

特別支援学級のお子様は、保護者様や病院、教育研究所等で、相談を重ねた上で利用していま
 す。国語・算数・自立活動等を中心に、一人一人にあった学習を、担任が計画し、それぞれのお子
 様に合った、わかりやすい教え方で教えています。

その外の時間は、交流学級（通常学級）で、みんなと一緒に、協力し、時には支えられて学校生
 活を送っています。（個別に教えてもらえるし、ダメなことはなぜダメなのか、そんなとき、どうしたら
 いいのかなどを、分かりやすく教えてもらえるので、ある意味とてもお得！と、私は常日頃思っています。）

そして、私が担当しているのが、通級指導教室（あおぞら教室）

- ・家でがんばって勉強しているのに、なかなか漢字をおぼえられないのはなぜ？
- ・音読がすらすら読めないのは、なぜ？
- ・集中が苦手で、先生の話の聞けないのはなぜ？



などといったことで困っているお子様に、週1・2回、「自立活動」という学習に必要な力を育て
 ています。（例、脳のトレーニングやビジョントレーニング）

なんだか、文字だらけになってしまいましたが・・・要は

困っているお子様には、それぞれに合った学びの場所があって、そこに入ったからといって、レ
 ッテルが貼られたり、いじめられたり、将来がだめになったりとかしない。まったく逆で、困って
 いる子にあった学びの場を選べば、お勉強が楽しくなり、学校も楽しくなるのですよ～～と言うこ
 とを・・・わかっていただけたら幸いです。

ミルクティーの味は、いかがだったでしょうか。では、次は5月号で。

